

ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～

米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／
日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／
通貨セレクト・コース(毎月分配型)

分配金のお知らせ

2016年9月12日

平素は、『ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2016年9月12日に決算を迎え、「ブラジル・リアル・コース」、「トルコ・リラ・コース」および「通貨セレクト・コース」につきましては分配金額を見直し、当期の収益分配金(1万口当たり、税引前。以下同じ。)をそれぞれ以下のとおりと致しましたことをご報告申し上げます。

「米ドル・コース」、「豪ドル・コース」、「日本円・コース」、および「南アフリカ・ランド・コース」の分配金額につきましては、前回決算と同額と致しました。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

《各コースの分配金(1万口当たり、税引前)》

	米ドル・コース	豪ドル・コース	ブラジル・リアル・コース	日本円・コース	南アフリカ・ランド・コース	トルコ・リラ・コース	通貨セレクト・コース
当期決算 分配金	80円	100円	70円	50円	90円	100円	100円
(前回決算 分配金)	(80円)	(100円)	(100円)	(50円)	(90円)	(130円)	(140円)
基準価額 2016年9月12日現在	11,006円	7,261円	4,296円	8,924円	6,928円	6,726円	6,082円

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

分配方針

『ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～』の収益分配方針は、以下のとおりとなっております。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ② 原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

Q1 なぜ、「ブラジル・リアル・コース」、「トルコ・リラ・コース」および「通貨セレクト・コース」の分配金が引き下げられたのですか？

A1 取引対象通貨の対円為替レート下落などにより基準価額が軟調に推移していることなどを、総合的に勘案した結果によるものです。

弊社の分配金の考え方は、ファンドの収益分配方針、配当等収益の水準、基準価額の水準、市場環境等を総合的に勘案して分配金額を決定するというものです。

「ブラジル・リアル・コース」、「トルコ・リラ・コース」および「通貨セレクト・コース」の分配金を引き下げましたのは、基準価額の水準などを総合的に勘案した結果によるものです。

各コースでは、2015年8月半ば以降、世界的な株式市場の下落などリスク回避的な動きが広がり、取引対象通貨の対円為替レートが下落したことや、分配金の支払いなどにより、基準価額が下落しております。また、それに伴い、配当等収益の額も減少しております。

足元の分配金と基準価額の水準などを考慮し、今後も継続的な分配を行ない、基準価額の下落を抑え信託財産の成長をめざすためには、分配金の引き下げが必要との判断に至りました。今回、分配金を引き下げたことによる差額はファンドの純資産に留保されることとなります。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

《基準価額・純資産・分配の推移》

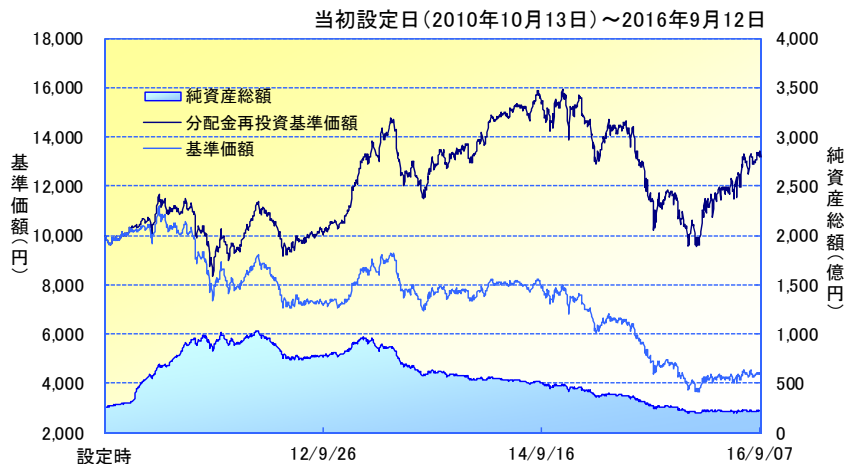
【ブラジル・リアル・コース】

2016年9月12日現在

基準価額	4,296円
純資産総額	211億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～66期	合計:	7,440円
第67期	(16/5/12)	100円
第68期	(16/6/13)	100円
第69期	(16/7/12)	100円
第70期	(16/8/12)	100円
第71期	(16/9/12)	70円
分配金合計額	設定来:	7,910円
	直近5期:	470円



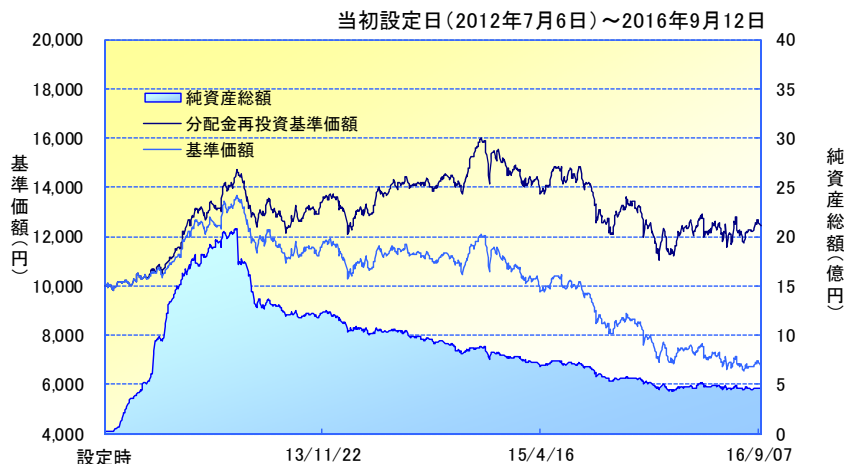
【トルコ・リラ・コース】

2016年9月12日現在

基準価額	6,726円
純資産総額	438百万円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～45期	合計:	5,440円
第46期	(16/5/12)	130円
第47期	(16/6/13)	130円
第48期	(16/7/12)	130円
第49期	(16/8/12)	130円
第50期	(16/9/12)	100円
分配金合計額	設定来:	6,060円
	直近5期:	620円



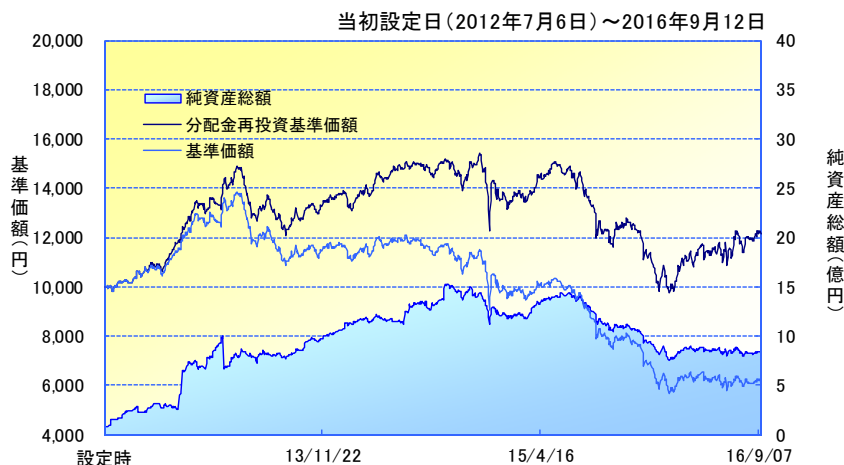
【通貨セレクト・コース】

2016年9月12日現在

基準価額	6,082円
純資産総額	814百万円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～45期	合計:	5,820円
第46期	(16/5/12)	140円
第47期	(16/6/13)	140円
第48期	(16/7/12)	140円
第49期	(16/8/12)	140円
第50期	(16/9/12)	100円
分配金合計額	設定来:	6,480円
	直近5期:	660円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
 ※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

Q2 分配金はどのように決定したのですか？

A2 分配金は、収益分配方針に基づいて、今後数期にわたって継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

当ファンドの収益分配方針において「原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。」と定めています。当該方針に基づいて分配金は、今後数期にわたって継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、現在の分配金の水準を維持できない、あるいは分配金が支払われない場合もあります。特に配当等収益の低下、基準価額の下落などは分配金の引き下げ要因となります。

Q3 分配金を事前に知ることはできないのですか？

A3 決算日(毎月12日、休業日の場合は翌営業日)の夕方から夜にかけての公表までは、分配金をご確認いただくことはできません。

分配金は事前に決定しているものではなく、ファンドの決算日(毎月12日、休業日の場合は翌営業日)に、ファンドの収益分配方針、配当等収益の水準、基準価額の水準、市場環境等を勘案して委託会社(大和投資信託)が決定します。したがって、事前にお知らせすることはできません。

なお、委託会社のホームページ(<http://www.daiwa-am.co.jp/>)では、夕方から夜にかけて基準価額とともに分配金を公表しますので、そちらをご参照ください。

Q4 分配金を引き下げるといことは、今後の運用に期待できないということですか？

A4 分配金の引き下げは、今後の運用実績とは何ら関係するものではありません。

今回の「ブラジル・リアル・コース」、「トルコ・リラ・コース」および「通貨セレクト・コース」の分配金引き下げについては、取引対象通貨の対円為替レートの下落による基準価額の下落などを総合的に勘案し、決定しました。したがって、今回の分配金の引き下げは、今後の運用実績とは関係するものではありません。なお、運用成績は、分配金に加え基準価額の動きも含めたトータルリターン(総収益率)で確認する必要があります。引き続きパフォーマンスの向上をめざしてまいります。

Q5 最近の投資環境と今後の見通しについて教えてください。

A5 米国ハイ・イールド債券市況については、原油価格が底堅く推移していることや株価の上昇などを背景に堅調な推移となっております。引き続き、ハイ・イールド債の信用スプレッド(米国国債との利回り格差)には、投資妙味があると考えております。

【米国ハイ・イールド債券市況】

米国ハイ・イールド債券市況は2015年後半より2016年2月にかけて、原油価格の下落や新興国経済への懸念により、市場センチメントが悪化したことを受けて、信用スプレッドの拡大とともに軟調な展開が続きました。

しかし、2月後半以降、原油価格に底打ち感が見られると市場のリスク回避姿勢の後退が鮮明となり、上昇に転じました。各国中央銀行の金融緩和策や、米国の利上げペースが緩やかにとどまるとの見方などが、相場の下支え要因となりました。

6月後半に行われた、英国のEU(欧州連合)離脱の是非を問う国民投票において、EU離脱派が勝利したことで一時的に市場のリスク回避姿勢が強まりましたが、7月以降は再び堅調に推移しております。

引き続き、世界経済には不透明感が残りますが、多くのハイ・イールド債発行企業については、緩やかながらも収益の成長が続き、財務健全性が維持されるものとみており、ハイ・イールド債の信用スプレッドには、投資妙味があると考えております。

【各コースの金融市況】

▶ ブラジル・リアル・コース (短期金利の環境)

ブラジル中央銀行は、政策金利を2015年7月のCopom(金融政策委員会)で14.25%に引き上げて以降、据え置いています。中央銀行は、インフレ率に関して、中央銀行のターゲットを超えて推移しており、2017年末に目標の+4.5%程度まで低下させるには、金融緩和の余地はないと述べています。

一方、FRB(米国連邦準備制度理事会)は、政策金利を2015年12月のFOMC(米国連邦公開市場委員会)で、0%~0.25%から0.25%~0.50%に引き上げて以降、据え置いています。

(為替市場)

年初来、ブラジル・リアルは対円で上昇しています。

2016年2月にかけて原油価格が乱高下する中、世界経済に対する先行き不透明感や一部の欧州銀行の信用力不安などを背景に、為替市場でリスク回避傾向が強まったことから円高が進行しました。しかし、3月以降は原油価格の底打ちなどから市場のリスク選好が高まったこと、ルセフ大統領の弾劾手続きが進展したことなどがブラジル・リアルの上昇要因となりました。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

よくあるご質問 (Q&A集)

▶ トルコ・リラ・コース

(短期金利の環境)

トルコ中央銀行は8月の金融政策決定会合で翌日物貸出金利を0.25%ポイント引き下げ、8.50%としました。1週間物レポ金利と翌日物借入金利については、それぞれ7.50%と7.25%で据え置きました。

一方、FRB(米国連邦準備制度理事会)は、2015年12月のFOMC(米国連邦公開市場委員会)で、政策金利を0%~0.25%から0.25%~0.50%に引き上げて以降、据え置いております。

(為替市場)

年初来、トルコ・リラは対円で下落しております。

2016年5月にダウトオール首相の辞任表明を受けて、政治的不透明感が高まったことや、7月にクーデター未遂事件が発生したことなどを背景に下落しました。また、日銀の金融政策をめぐる思惑などによって円高が進展したことも、対円でトルコ・リラが下落する要因となりました。

▶ 通貨セレクト・コース

(選定通貨について)

選定通貨の投資比率は、金利の高い方から順に30%、30%、20%、10%、10%程度で維持することを基本とします。

8月の選定通貨は、順にブラジル・リアル、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、コロンビア・ペソ、南アフリカ・ランドでした。

新興国の金融市場では、全般的に先進国の金融緩和策が金利低下要因として働く一方で、米国の利上げの影響を懸念する動きが金利上昇要因となっております。

(為替市場)

年初来、新興国通貨はブラジル・リアルを除き、おおむね対円で下落しました。

2016年2月にかけて原油価格の下落が続いたこと、世界経済に対する先行き不透明感や一部の欧州銀行の信用力不安が高まったことなどから、為替市場ではリスク回避傾向が強まりました。その後も英国のEU離脱の是非を問う国民投票においてEU離脱派が勝利したことや日銀の金融政策をめぐる思惑などによって円高が進展したことも、新興国通貨が対円で下落する要因となりました。

以上

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

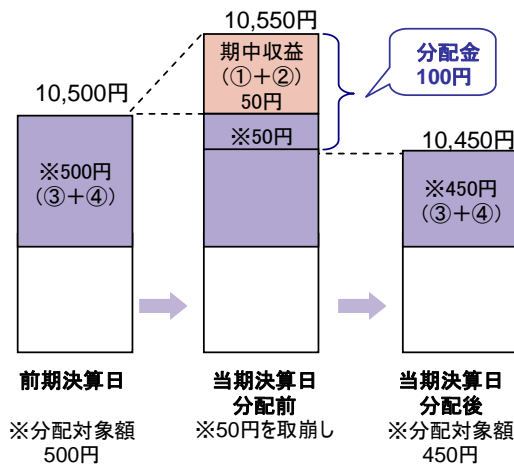
投資信託で分配金が支払われるイメージ



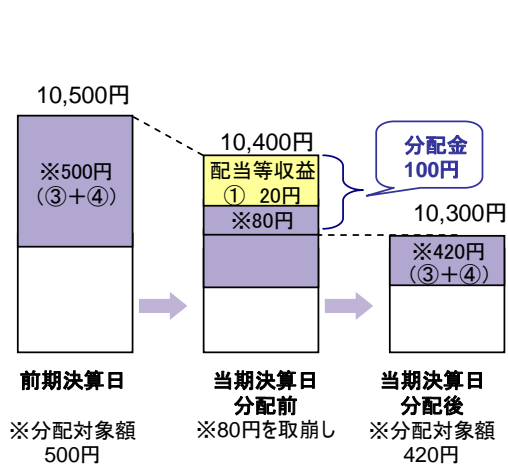
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



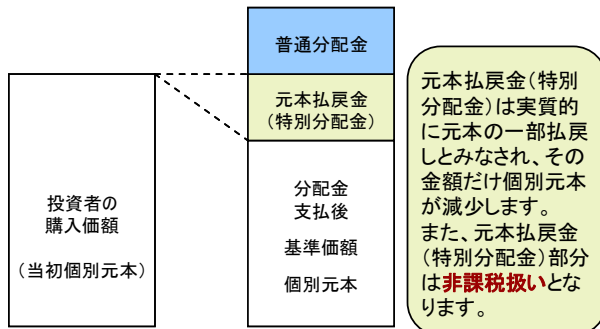
前期決算日から基準価額が下落した場合



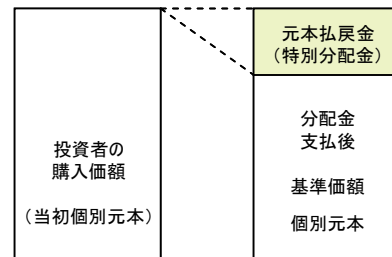
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

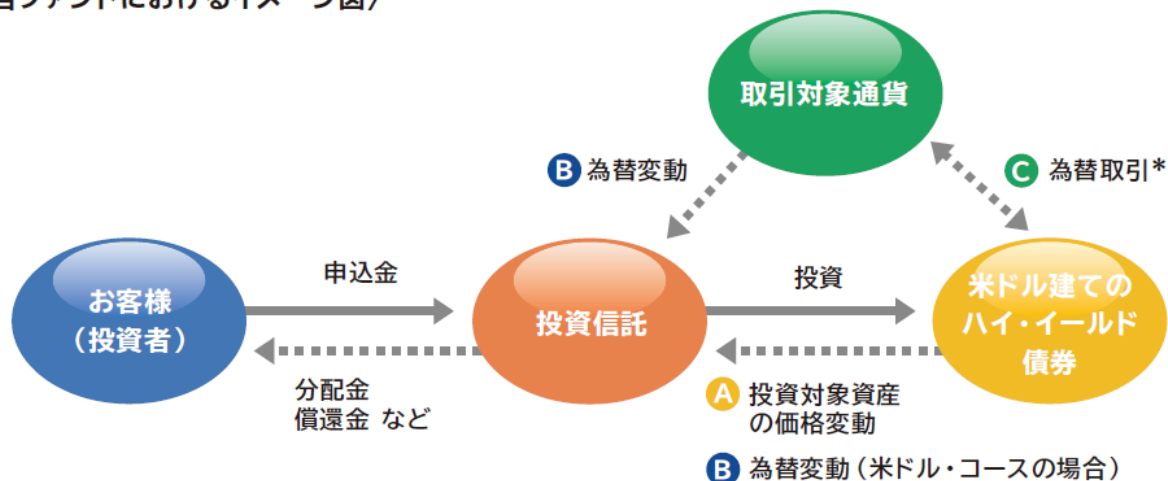
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイールドファンド～

米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／
日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／
通貨セレクト・コース(毎月分配型)

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

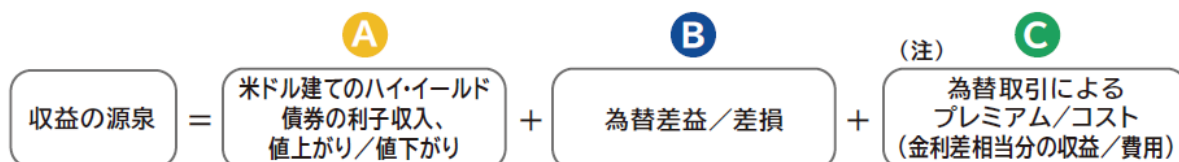
〈当ファンドにおけるイメージ図〉



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。



	A	B	(注) C
収益を得られるケース	・金利の低下 債券価格の上昇、利子収入	・円に対して取引対象通貨高 ・円に対して米ドル高 (米ドル・コースの場合) 為替差益の発生	取引対象通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利 プレミアム (金利差相当分の収益)の発生
損失やコストが発生するケース	債券価格の下落 ・金利の上昇 ・発行体の信用状況の悪化	・円に対して取引対象通貨安 ・円に対して米ドル安 (米ドル・コースの場合) 為替差損の発生 ※日本円・コースを除きます。	取引対象通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利 コスト (金利差相当分の費用)の発生 ※米ドル・コースを除きます。

(注) 取引対象通貨が新興国通貨の場合、為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。

NDF取引を用いて為替取引を行なう際、プレミアム/コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

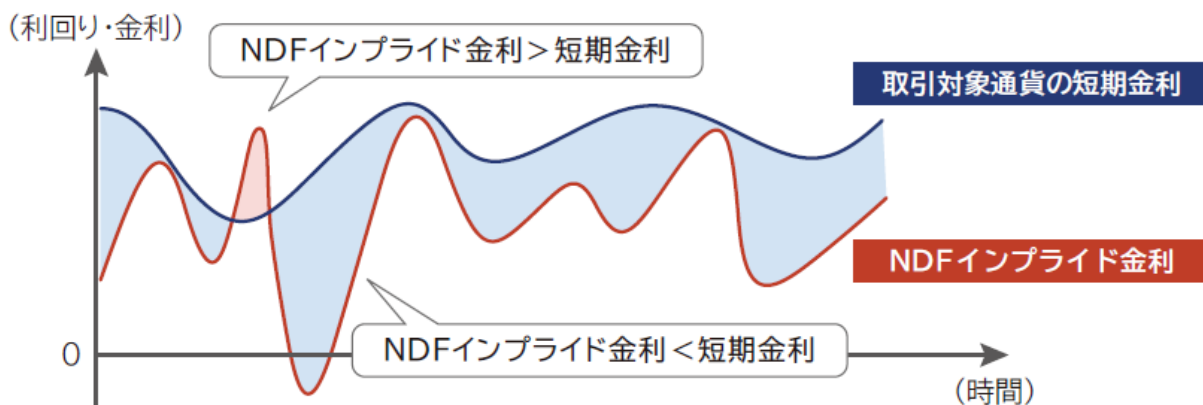
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイールドファンド～

米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／
日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／
通貨セレクト・コース(毎月分配型)

NDF取引とは

- ◆取引対象通貨を用いた受け渡しは行わず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ◆NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き(裁定)が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、**取引対象通貨の短期金利**の水準から大きく乖離する場合があります。

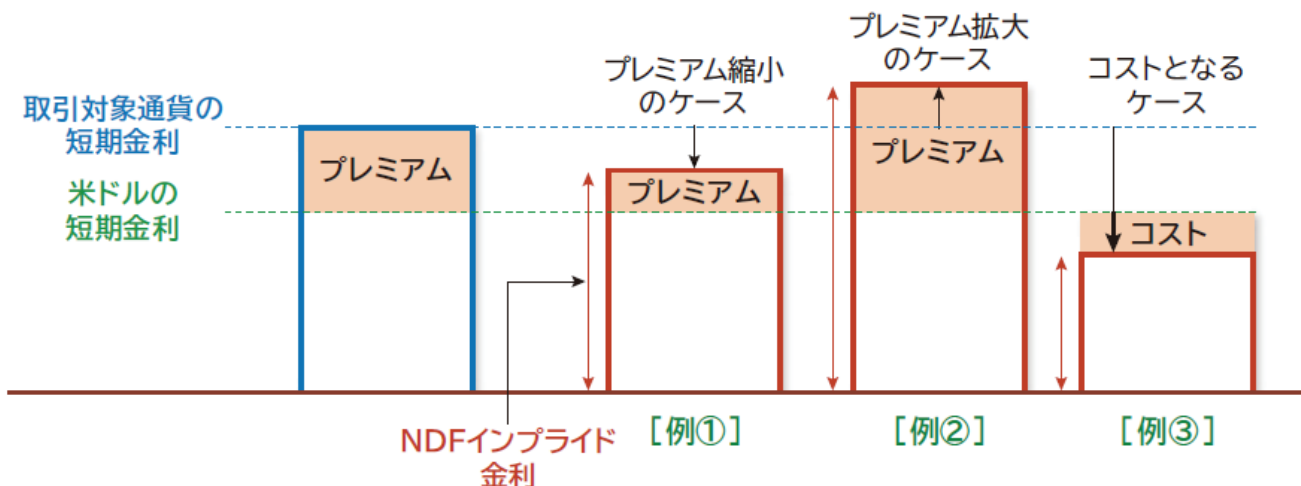
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- ◆市場参加者の通貨上昇(下落)期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く(高く)なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く(高く)なると、**為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)**が縮小【例①】(拡大【例②】)し、場合によっては**為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)**となるケース【例③】もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。
※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～ 米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／ 日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／ 通貨セレクト・コース(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 米ドル建ての高金利社債^(※)に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
(※)以下「ハイ・イールド債券」といいます。

ファンドの特色

1. 米ドル建てのハイ・イールド債券に投資します。
2. 為替取引の対象通貨が異なる7つのコースがあります。

コース名	為替取引の内容	取引対象通貨
米ドル・コース	—	—
豪ドル・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買い	豪ドル(注1)
ブラジル・リアル・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買い	ブラジル・リアル(注1)
日本円・コース	為替ヘッジを行いません。 (米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買い(注2))	日本円
南アフリカ・ランド・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／南アフリカ・ランド買い	南アフリカ・ランド(注1)
トルコ・リラ・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／トルコ・リラ買い	トルコ・リラ(注1)
通貨セレクト・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／選定通貨(注3)買い	選定通貨(注1)

※7つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

(注1)円に対して取引対象通貨高となった場合、基準価額の上昇要因となります。円に対して取引対象通貨安となった場合、基準価額の下落要因となります。

(注2)為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

(注3)選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定する通貨をいいます。

原則として、シティ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット プロードの構成国の通貨の中から、金利が高い順に5つの通貨を選定します。

なお、選定した通貨のうち、投資顧問会社が為替取引を行なうことができない通貨があった場合、投資顧問会社は次に金利が高い通貨を選定します。

米ドルを選定する場合、米ドル部分に対する為替取引は行ないません。

◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ファンドの名称	略称	
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 米ドル・コース(毎月分配型)	米ドル・コース (毎月分配型)	米ドル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 豪ドル・コース(毎月分配型)	豪ドル・コース (毎月分配型)	豪ドル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	ブラジル・リアル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 日本円・コース(毎月分配型)	日本円・コース (毎月分配型)	日本円・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)	南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	南アフリカ・ランド・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) トルコ・リラ・コース(毎月分配型)	トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	トルコ・リラ・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 通貨セレクト・コース(毎月分配型)	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	通貨セレクト・コース

◆各ファンドの総称を「ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～」とします。

3. 毎月12日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

◆J.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクが運用する外国投資信託の受益証券を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、「米ドル・コース」を除き、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／対象通貨買いの為替取引を行ないます。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイールドファンド～

米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／
日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／
通貨セレクト・コース(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク、ハイ・イールド債券への投資リスク)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

〈「米ドル・コース、日本円・コース」以外のコース〉

取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

投資対象資産の通貨である米ドルの為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受けます。なお、取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなります。

〈米ドル・コース〉

組入外貨建資産について、米ドルが円に対して米ドル安の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

〈日本円・コース〉

為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、日本円の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイールドファンド～ 米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／ 日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／ 通貨セレクト・コース(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用(信託報酬)	年率 1.1664% (税抜 1.08%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする投資信託証券	(米ドル・コース)・・・年率 0.58%程度 (米ドル・コース、通貨セレクト・コース以外)・・・年率 0.59%程度 (通貨セレクト・コース)・・・純資産総額に応じて 100億円以下の部分：年率 0.74%程度 100億円超の部分：年率 0.69%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	(米ドル・コース) 年率 1.7464%(税込)程度(純資産総額によっては上回る場合があります。) (米ドル・コース、通貨セレクト・コース以外) 年率 1.7564%(税込)程度(純資産総額によっては上回る場合があります。) (通貨セレクト・コース) 年率 1.9064%(税込)程度(純資産総額によっては上回る場合があります。)	
その他の費用・手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会